

平成 31 年度国立天文台フェロー（年俸制職員 特任助教）の公募

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていただく制度です。平成 27 年度は 1 名、平成 28 年度と 29 年度は 4 名ずつ、平成 30 年度は 2 名を採用しています。詳しくは <https://www.nao.ac.jp/about-naoj/employment/jobs-fellow.html> をご覧ください。

募集人員：年俸制職員 特任助教 若干名

所属部門等：受入教員の所属するプロジェクト、センター、研究部*

*研究部の名称は変わる可能性があります。

勤務地：国立天文台の三鷹（東京都三鷹市大沢）、水沢（岩手県奥州市水沢星ガ丘町）、野辺山（長野県南佐久郡南牧村野辺山）、ハワイ（アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ）、チリ（チリ共和国サンティアゴ）のいずれか

専門分野：天文学および関連分野

職務内容：基本的に業務は無く、希望する研究や開発に専念していただきます。

着任時期：平成 31 年 4 月 1 日以降。ただし平成 31 年 9 月 30 日までに着任していただきます。

契約期間：原則として着任日より 5 年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。契約期間満了後の更新はありません。

応募資格：博士の学位を取得した者又は着任日までに取得見込みの者。

提出書類：(1)履歴書、(2)研究歴、(3)研究論文リスト(通し番号を付けたうえで、
(i) Corresponding Author となっている査読論文、(ii)その他の査読論文、
(iii) 査読なし論文、を分けて記載する。共著論文の場合は著者名を全て明記すること)、(4)主要論文 3 編の PDF ファイル、(5)研究計画書(受入教員を明記のこと)、(6)応募者に対する評価書 1 通。

応募締切：平成 30 年 9 月 14 日（金）正午(日本標準時)（応募フォームでの応募書類と評価書の投稿）

提出方法：下記 URL の応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行うこと。

<https://application.nao.ac.jp/2019/>

評価書は、応募フォームにある説明に従い、評価者がアップロードすること。

問い合わせ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台研究連携主幹 齋藤正雄

Tel: 0422-34-3514

e-mail: appl-fellow2019<at>nao.ac.jp (<at>を@で置き換える。以下同様)

応募上の注意：応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は、appl-fellow2019@nao.ac.jp へ問い合わせること。

採用審査：書類および面接により候補者を選考し、本年 11 月初旬(予定)に開催される運営会議の議を経て特任助教として採用を決定します。なお、面接は本年 10 月 19 日（金）（日本標準時）を予定しており、面接対象者には事前に連絡します。

身分・待遇：

- ・裁量労働制の常勤職員として月額給与 55 万円の他、通勤手当(上限 55,000 円/月)が支給されます。また、年あたり 100 万円の研究費が配分されます。
- ・文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・着任に必要なと認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。
- ・科学研究費助成事業への応募資格があります。
- ・米国ハワイ州外よりハワイ観測所（ハワイ州ヒロ）に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所（サンティアゴ）に着任する場合は、手当が支給されます。
- ・ハワイ観測所に着任する場合は、ハワイ大学研究公社 (RCUH) による雇用となります。給与・手当は、1 ドル=100 円の固定換算レートで、米ドルにて支給されます。

その他：国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。